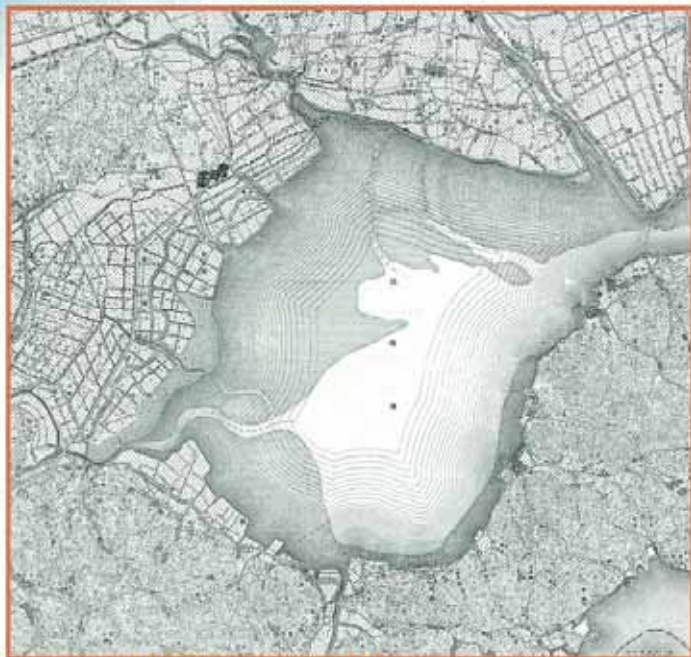


児島湖読本

～どっこい生きている児島湖～



児島湖読本

- どっこい生きている児島湖 -

目次

はじめに

第一章 干拓以前の人と生活

第二章 古代干拓草創期の人と生活

第三章 近世から現代の人と生活

第四章 児島湖の今は

第五章 どっこい生きている児島湖

第六章 これからの児島湖

おわりに

特長は・・・

- ・干拓の歴史をしっかりと理解
- ・水質改善のための浚渫事業を詳しく紹介
- ・土木技術、農業、漁業、水質改善、自然環境など多彩な内容をアカデミックに集録

締切堤防の建設、児島湖の誕生の歴史から、流域の農業や人々の生活、水質や生物の様子、児島湖の将来像まで、干拓事業に係る情報を総括したハンドブックです。

編者：児島湖流域エコウェブ

発行：児島湖沿岸農地防災事業所（平成19年12月）

児島湖の現状（淡水化・農業・漁業）



夏 秋



干向なす

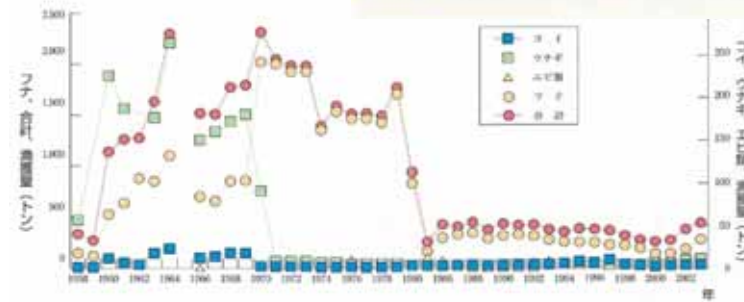
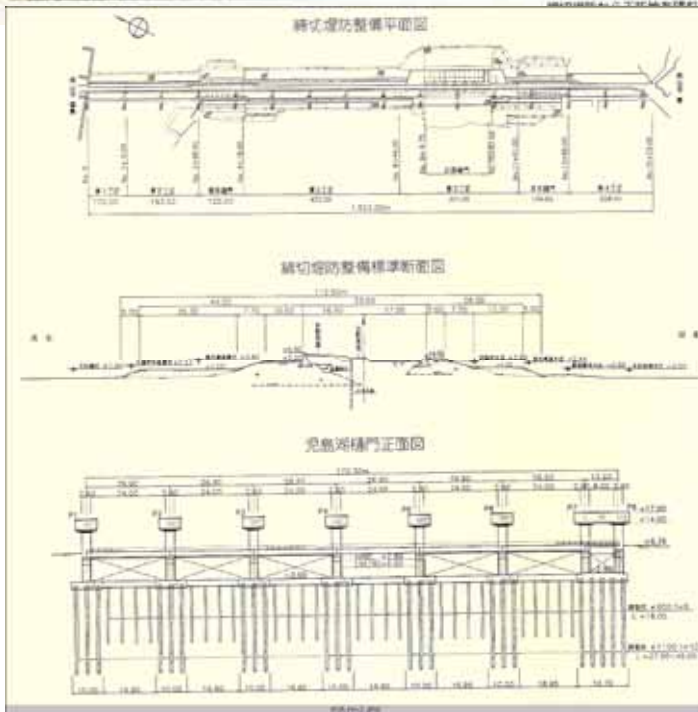


図1 漁獲量の推移

繁栄する農業と衰退する漁業

どっこい生きている児島湖

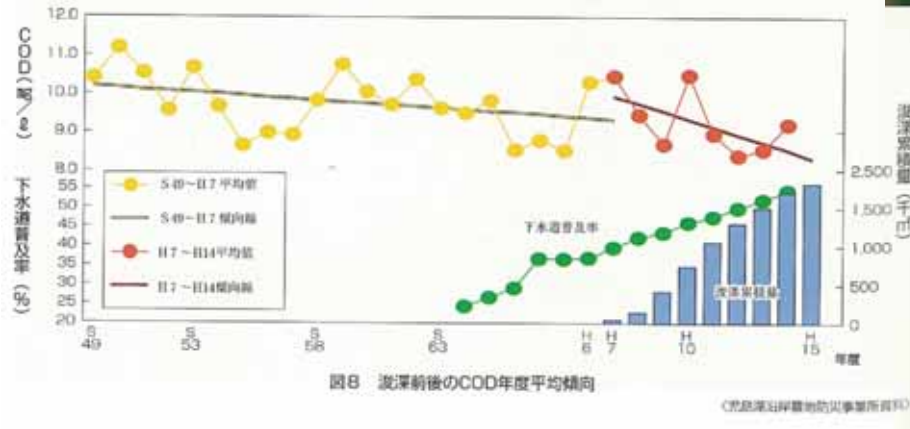


児島湖水質ヨシで浄化

あす玉野の中学生が植栽協力

湖岸に560本刈り取りなど管理にも参加

山陽新聞 2006年1月15日



ヨシ型護岸

左: 底泥の浚渫と下水道の普及に伴う水質の改善
 右: ヨシの浄化能力の活用 / ヨシ原を利用する生き物



児島湖[☆] —歩いて探そう！水辺の生き物— グリーンガイド



児島湖グリーンガイド

- 歩いて探そう！水辺の生き物 -

目次

序章

1. 児島湖流域の自然環境を観察しよう
2. 児島湖周辺の植物（55種）
3. 児島湖周辺の魚介類（60種）
4. 児島湖周辺の野鳥（62種）

終章

特長は・・・

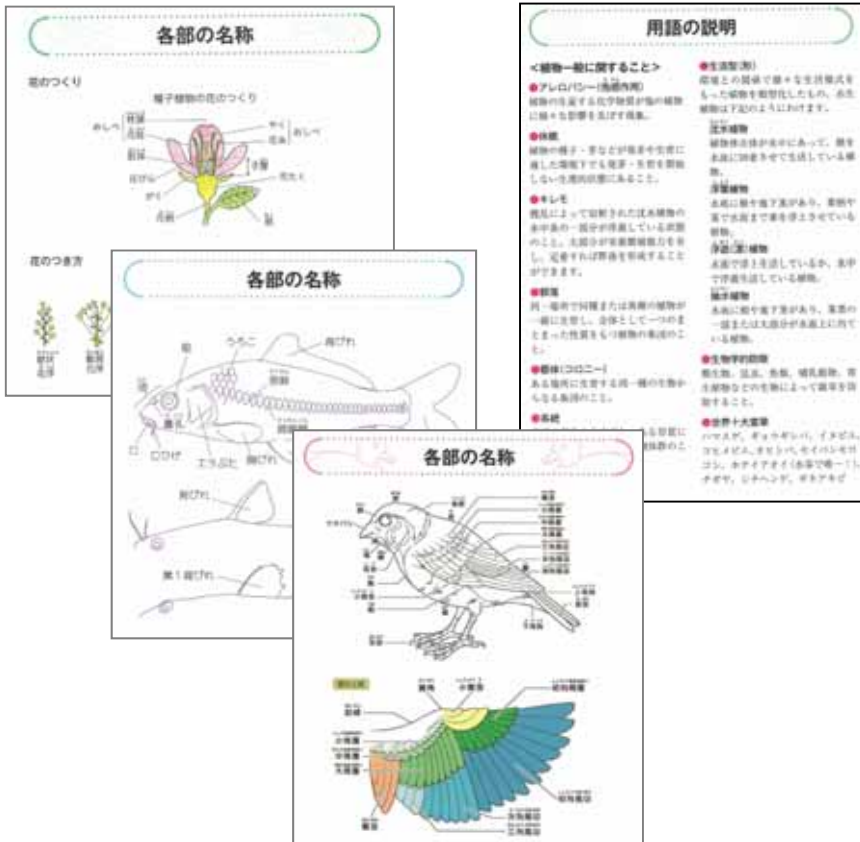
- ・「児島湖読本」の続編として、児島湖流域にすむ異なる3つの分類群の動植物を1冊の図鑑に集約
- ・自然観察の服装、観察方法の解説、フィールドマナー、用語の解説も含めた実践型ポケット図鑑
- ・鮮やかなカラー写真の多くは児島湖流域で撮影
- ・各章のイントロ、メモ、コラムでは、児島湖ならではのトピックを紹介

まさに児島湖のまわりを歩いて、身近な自然を観察するためのガイドブックに仕上がっています。

編者：児島湖流域エコウェブ

発行：財団法人児島湖流域水質保全基金（平成24年3月）

児島湖流域の動植物のガイドブックとして、 初心者にも分かり易い構成になっています。



形態 地下茎は地中深く1mに達し、横には水平部と節から上方に伸びて
 稈を分枝する垂直部からなります。稈は直立して高さ1～4m、円柱
 形で中空です。葉は互生、長さ10～20cmの葉鞘が葉を包み、葉身は
 線形で長さ15～70cm、幅1～5cm、先は垂れ下がる事が多いです。
 花は20～40cmの円錐花序で、白色や褐色になります。

生態 湖沼、ため池、河川、水路から採取まで、いたるところの水域や湿地
 に群生する多年生大型抽水～湿生植物です。3月頃から新芽が再生
 し、花期は8～10月で、11月頃に結実し、その後、地上部は枯れま
 す。耐寒性が高く、凍り下の中でも地下茎によって旺盛に繁殖する
 とともに種子繁殖も活発です。

メモ 児島湖内ではコンクリート護岸前の埋積土や流入河川の河口域に普
 通に見られます。ヨシ群落は水生環境の中核をなしており、護岸から
 護岸を保護するとともに、生物に生息場所を提供し、水質浄化能力を
 有することや水辺の景観形成にも役立つことから児島湖でも群落の
 保全が図られています。湖内に造成された埋め立て地や人工干潟では
 刈り取り処理によって群落の更新を促し、刈り取った地上部は牧草や
 工業品として活用されています。児島湖内で漁獲物として使用してい
 るのは「ほふく葉」を持つツルヨシです。和名の語源は、若葉の変化し
 たものといわれ、「アシ」が「蒸し」に通じるので、ヨシ「蒸し」に
 改められたことに由来します。

児島湖で撮影
した写真

形態的な特徴

一般的な生態

児島湖流域で
の生育状況や
人との係り、ト
ピックなどを紹
介

組織や体の部位の名前はイラストで図説
 専門的な内容は、用語集で説明

植物編



オニバス



ヒメガマ



ヒシ



ヒガンバナ



コカナダモ(外来種)



ホテイアオイ(外来種)

魚類編・コラム



鳥類編



ミサゴ



ヒバリ



チュウヒ



カワセミ



タゲリ



ホシハジロ

オス



オオバン